

**羽田発着枠政策コンテスト**  
**スカイマーク 羽田＝宮古(下地島)線への発着枠の配分継続が決定**  
～2025年3月30日以降も運航を継続します～

国土交通省航空局の実施する「羽田発着枠政策コンテスト」(※1)に応募しているスカイマークの羽田＝宮古(下地島)線について、この度、正式に2025年3月30日から2029年3月24日までの羽田発着枠の配分継続が決定しましたので、お知らせします。

(※1) 地方路線の活性化策について航空会社と就航先の自治体などが共同で国土交通省航空局に提出し、有識者委員の評価などを踏まえて、羽田空港の発着枠(発着する権利)が割り当てられる仕組み。前回は2020年5月に開催。

羽田空港と下地島空港を結ぶ路線開設に必要な羽田発着枠の配分を受けるべく、沖縄県、宮古島市、下地島エアポートマネジメント株式会社、スカイマーク株式会社の4者共同にて羽田発着枠政策コンテストに応募しております。

下地島空港活性化協議会(※2)とスカイマーク株式会社、官民一丸となり、宮古島の魅力や下地島空港の優位性の発信、宮古諸島の受入環境整備や当該路線の利用促進に取り組んできたところ、2025年3月29日までの羽田発着枠の配分を受けておりましたが、昨年12月6日に東京で実施された「羽田発着枠政策コンテストの評価等による懇談会」において、当路線への取組に一定の効果があると有識者の皆様に評価いただいた結果、新たに2029年3月24日までの配分継続が決まったものです。

(※2) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に沖縄県、宮古島市、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。